



～認知症になっても輝き続ける～「プラチナカフェ」について

イベントの概要

「プラチナカフェ」は 認知症の方が注文を受けるなどの接客を行い、おもてなしをする カフェです。

認知症の方にとっては、接客を通じて自分の役割を感じることができること、来店されるお客様にとっては、認知症の方がいきいきと働く姿にふれることで、認知症への理解を深め、考えるきっかけとなることをめざして開催しています。今回が3回目となりますが、今回は夏休み期間に開催することで子ども達が認知症についての理解を深める機会になればよいと考えています。

今回もお店のオーナーの協力のもと、おいしいケーキやドリンクをその日限りのスペシャルセットで提供します。

認知症の方がいきいきと活躍するカフェで、スタッフとお客様と一緒に楽しんでいただきたいと思います。

開催までの経緯

平成29年9月、認知症の方がホールスタッフとして活躍する「注文をまちがえる料理店」が東京で開催され、全国的に大きな話題を集めました。

本市においても平成30年11月30日（金）の松戸市あんしん一声運動研修会で、「注文をまちがえる料理店」の運営者で、認知症介護の第一人者でもある和田行男氏による講演を行いました。

認知症になっても持っている力を発揮し、いきいきと笑顔で過ごせる取り組みをぜひ実現したいと、高齢者いきいき安心センターに配置されている認知症地域支援推進員と市で企画し、市内の介護事業所や認知症に関する専門職、お店のオーナーにご協力いただき、話し合いを重ね、「プラチナカフェ」実現の運びとなりました。

目的

① 認知症の方が輝ける場所づくり

認知症の方が自分の役割を感じ、社会とつながり、いきいきと過ごせる。

② 地域住民の認知症に対する理解を深める

認知症の方がいきいきと働く姿にふれることで、認知症への理解を深め、考えるきっかけとなる。



③ 支援者の学び、ネットワークづくり

認知症の方が持っている力を発揮し、いきいきと過ごせるための接し方や環境について支援者が考え、取り組みを通じて支援者同士が連携を深めることができる。

※今回は、子ども達が認知症への理解を深めるきっかけになるよう、夏休み期間に企画をしました。高校生ボランティアの協力も予定しています。また、近隣の小学校へチラシの配布を行い、一人でも多くの子ども達が保護者と一緒に来店し、認知症の方と触れ合う機会が持てるとよいと考えています。

内 容

- 認知症の方がスタッフとして働く
 - ・ホール担当（注文受け・配膳など）
 - ・会計（簡易レジで計算）
 - ・洗い物
 - ・外回り（客の呼び込みなど）
- 認知症の方がお客様をもてなす
 - ・楽器の演奏など

日 時

令和元年8月8日（木）13時～16時

場 所

カフェ・シャコンヌ（松戸市八ヶ崎7-45-3）

メニュー

プラチナカフェ限定「納涼セット」（スイーツ+ドリンク）500円

周知方法

- 松戸市ホームページ、フェイスブック、ツイッターに情報を掲載
- 各種研修会、会議等で地域住民、専門職に周知
- 周辺事業所、店舗にチラシを配架
- 近隣の小学校にチラシを配布

配布物

別紙「プラチナカフェ」のチラシ

【問い合わせ先】

福祉長寿部高齢者支援課地域包括ケア推進担当室

☎047-366-7343

8.8(木)!! 場所：カフェ・シャコンヌ
時間：13:00～16:00

1日限定

OPEN!!

人と世代と地域を繋ぐカフェ



～“認知症になっても輝き続ける”～

プラチナカフェ

人生の主人公は常に自分自身だから
シルバーよりも輝くプラチナの私たちが提供する時間を
どうぞお楽しみください。

お問合せ：スイーツデイズ／カフェ・シャコンヌ

TEL:047-340-3421

住所：千葉県松戸市八ヶ崎7-45-3

PRICE

プラチナカフェ限定 ☞ 納涼セット ☞
(スイーツ+ドリンク)

¥ 500 円

